

応募校・研究テーマ一覧

【天童市立 津山小学校】

津山のホテルを守り隊／津山のホテルを守ろう
ジャガラムガラ探検隊／ジャガラムガラ風穴の秘密

【天童市立 天童南部小学校】

チーム発信／天童のよさ発信

【東根市立 東根中部小学校】

第6学年1組／助け愛 地域に役立て!私たちの「挑戦」

【米沢市立 六郷小学校】

第5・6学年(全員)／私達が住む六郷地区を、私達小学生の力で盛り上げよう

【東根市立 東根小学校】

第6学年／東根をPRしよう「PR“HIGASHINE”全国制覇プロジェクト」

【朝日町立 朝日中学校】

第1学年／Search for Asahi～朝日町を知る～(総合的な学習の時間)
朝日探究プロジェクトResearch on Asahi Project
りんご探究プロジェクトResearch on Apples Project

【上山市立 宮川中学校】

第3学年／黒柿の学習机～干し柿の名産地よりPart2～

【山辺町立 作谷中学校】

チーム作谷沢／作谷沢の産業

【舟形町立 舟形中学校】

第1学年／わたしたちの国宝“縄文の女神”

【山形市立 第五中学校】

山形市立第五中学校 パソコン部 with 3学年／「ザ・五中学区文化遺産～勝手に宣伝部長～」

【山形県立 東桜学館中学校】

2年産業A 齋藤 妃菜／山形県から日本遺産を出そう!
2年産業B 高橋 歩夢／山形空港の利用拡大とみんなが楽しめる空港へ!
2年産業C 齋藤 花楓／山形の伝統野菜や果物で、日本全国に世界的に山形の魅力をPRできるのか。
2年自然 渋谷 悠暉／農作物・果実などの廃棄物の利用と商品化
2年歴史・文化 高橋 悟 /「山形の音楽」～山形の音楽についてこれまでの歴史を踏まえ、これからの山形に向き合う。～
1年産業A 山本チーム／有機ELの認知度を高めよう!
1年産業B 松本チーム／山形県の特産品を使ったジュースを広めよう
1年自然A 安達チーム／山形の海をきれいにし、もっとクラグを盛んにすることは可能か。
1年歴史・文化B 阿部チーム／新庄まつりの知名度をあげる方法を考えよう。
1年歴史・文化B 菅野チーム／温泉で山形県を有名にすることは可能か。

【山形県立 置賜農業高等学校】

チーム Agriction／ノケジョプロジェクトで広がる夢

【山形県立 村山産業高等学校】

株式会社いも煮国(農業部バイオテクノロジー班)／郷土の素晴らしさに気付く→山形は独立できる!?
～いも煮国 建国への道～

【山形県立 新庄神室産業高等学校】

課題研究(食品)伝承豆チーム／伝承豆を知ろう～地域の豆の活用～

【山形県立 庄内総合高等学校】

第3学年／3年次 地域課題解決型キャリア学習「ふるさと探究」

【山形県立 新庄北高等学校】

第2学年 山科 龍之介／冷却材だけで発電器は作れるか
第2学年 大沼佳郁・高橋梨央奈・間みやび／最上地域の歩んだ歴史と人々の生活の変遷を学ぶ
第2学年 荒井美穂・中川静香／アメリカのTPP離脱が日本にもたらす影響
第2学年 阿部夏音・高橋みなみ／厚生病院を新庄の新名物にする為に

【山形県立 山形東高等学校】

山東探究塾／身近な歴史・文化の探究

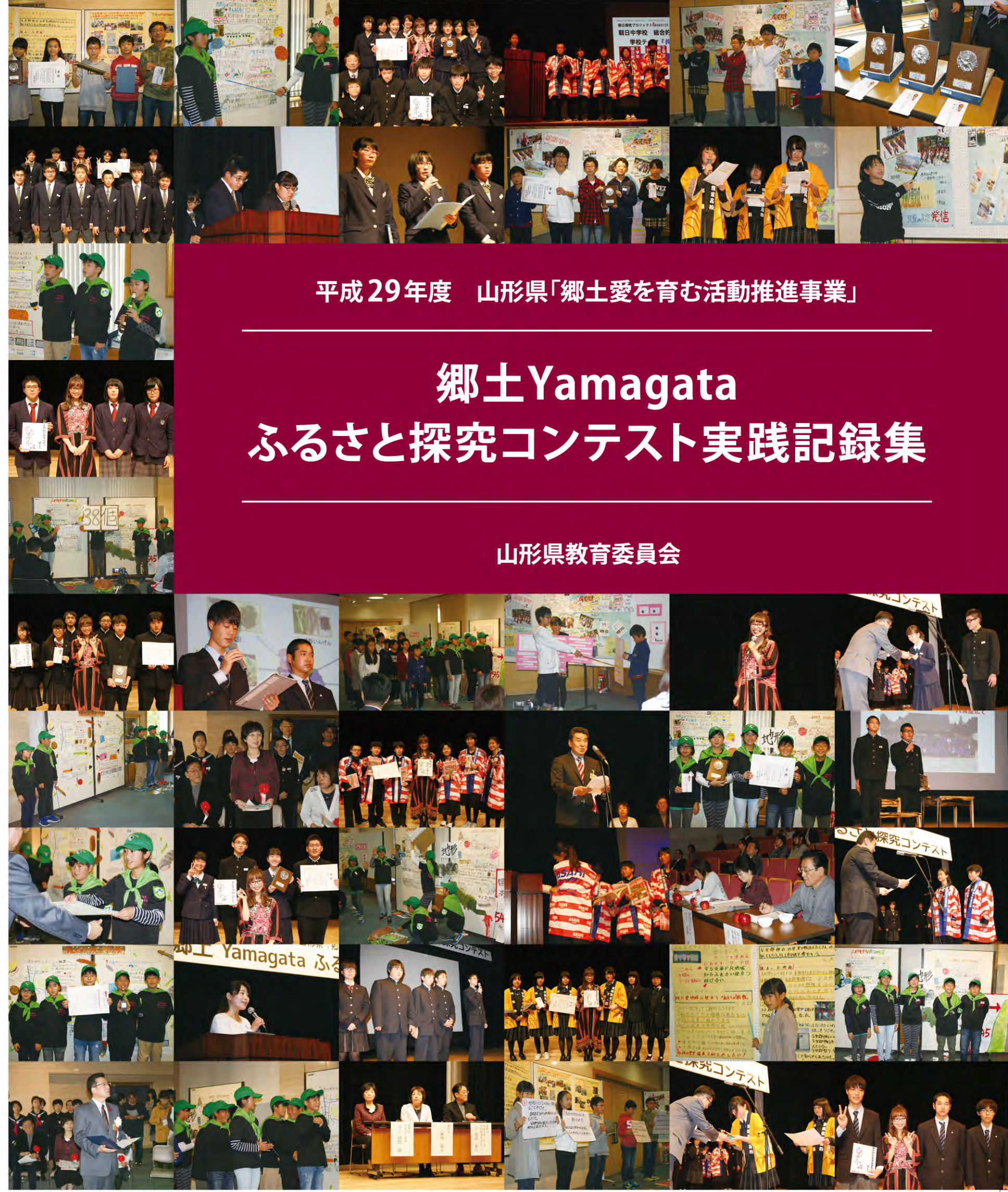
本実践記録集の資料を山形県教育庁ホームページで閲覧できます。「ふるさと探究コンテスト」で検索

発行者/山形県教育庁総務課(山形市松波2-8-1 TEL.023-630-2692)

平成29年度 山形県「郷土愛を育む活動推進事業」

郷土Yamagata ふるさと探究コンテスト実践記録集

山形県教育委員会



山形県教育委員会では、「人間力に満ちあふれ 山形の未来をひらく人づくり」を基本目標とする第6次山形県教育振興計画において、基本方針の一つに「郷土に誇りを持ち、地域とつながる心を育成する」ことを位置付けています。

私たちは、皆さんが、郷土山形について主体的に調べ、地域の方々と交流しながら学ぶ活動を通して、ふるさとへの愛着と誇りをもってほしいと願い取組みを進めています。その取組みの一つが、昨年度から実施し今年度で2回目となる「郷土Yamagataふるさと探究コンテスト」です。

今年度は、初めて小学生の部を設け、最終審査会では、小学生のポスターセッションから中学生・高校生のプレゼンテーションまで、充実した発表が展開されました。地域の特色に根ざしたテーマ設定と的確な課題解決方法の選択、成果・課題の整理と聞き手を意識したわかりやすい発表まで、小学生・中学生・高校生の発達段階に応じた探究型学習の成果が披露され、昨年度以上に質の高いコンテストとなりました。

県内の小・中・高等学校の児童生徒の皆さんと先生方にはこの実践記録集をぜひお読みいただき、これからの学習のさらなる充実・発展に役立てていただければ幸いです。

最後になりますが、昨年度に引き続き本コンテストの審査員となっただき、小学生・中学生・高校生それぞれの成長に資する的確な評価と温かい励ましの言葉をいただいた沼野慈先生、堀川敬子先生、渡部泰山先生に、あらためて深く感謝申し上げます。

平成30年2月

山形県教育委員会教育長 廣瀬 渉

【審査員】



沼野 慈

新庄市在住。企業で食品添加物や食材の研究・特許開発に従事した経験から食の安全や女性の就労環境や子育て問題等に強く関心を持つようになり、地域活動家となる。現在、NPOもがみ理事長、地域社会デザイン研究所所長、山形創造NPO支援ネットワーク理事、山形いのちの電話評議員、新庄市男女共同参画計画策定委員長、県農村環境保全推進委員会、ESD環境教育プログラム作成活用委員会、ふるさと創造基金運営委員他を務める。

「最上に生きる100人の若者たち」「もがみの仕事の魅力ガイド」等発刊。

社会教育功労者文部科学大臣表彰、男女共同参画社会づくり功労知事表彰を受ける。



堀川 敬子

天童市出身。東京からのUターン後、家業(青果物卸業)に従事する傍ら、天童青年会議所の地域づくり事業や天童商工会議所青年部の「平成鍋合戦」の実施に参画。2001年、特定非営利活動法人天童NPO支援サロンを設立し、理事および事務局としてコミュニティ・ビジネスの創出及び啓発事業、「国際ジャズフェスティバル in 天童」、「ふるさと山形塾」など各種事業に取り組む。山形県まちづくりサポーター、山形県立博物館協議会委員、山形県地球温暖化防止活動推進委員、山形県公共事業評価監視委員会委員等、様々な役職を務める。



渡部 泰山

東北芸術工科大学教授。専門分野は学校経営学、教育と芸術学。山形県内各高校で教諭、教頭、校長を務める。山形県教育庁世界遺産推進監、教育次長、山形東高等学校校長を歴任。山形大学大学院教授を経て現在に至る。

新庄市都市計画審議会、山形県教員育成連絡会議、山形医療技術専門学校学校評価委員会・教育課程編成委員会等、各種の委員を務める。県内外の雑誌、新聞に教育、美術、文学、演劇に関する多くの論文を発表。『東北芸術文化の水脈』で真壁仁野の文化賞、文部科学大臣教育者表彰受賞。『教育の森通信』『迷宮の泉』『枯木野の色』『山形現代美術館』他著書多数。新庄市に山形現代美術館開設。東北芸術文化学会所属。

【最終審査会ゲスト】



朝倉 さや

山形県出身。民謡民舞全国大会で2度日本一に輝き、動画サイトでは民謡を取り入れたカバー楽曲が話題に。史上初山形弁の歌姫として、デビュー前から多数のメディア出演、テレビ、ラジオ、また新聞にも掲載されその歌唱力・明るいキャラクターで聴くだけで元気が出る!と話題を呼んでいる。

2015年、レコード大賞企画賞を受賞。

「郷土 Yamagata ふるさと探究コンテスト」について

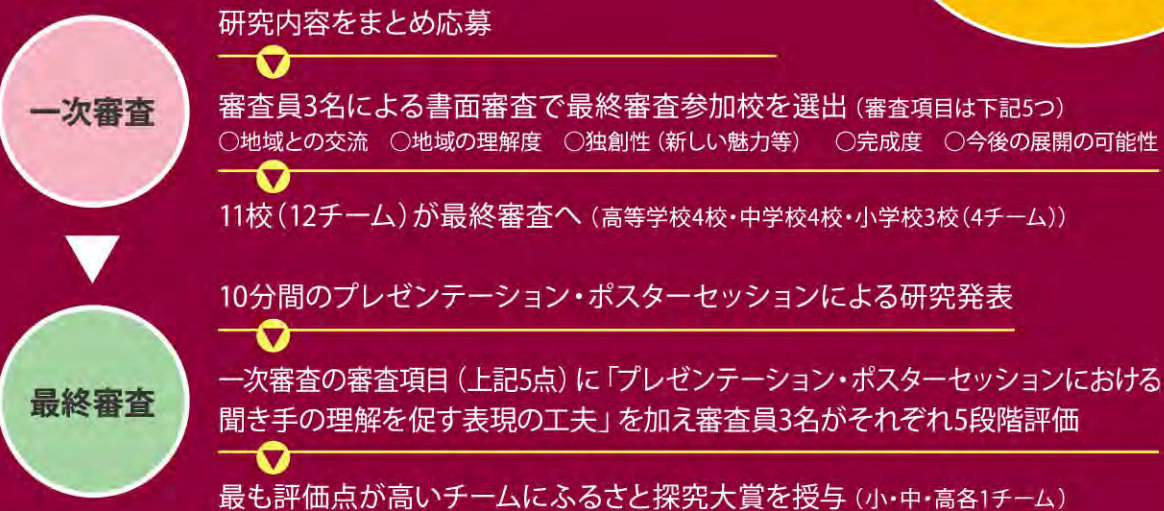
〈趣旨〉

小学生・中学生・高校生による、郷土に関する調査研究や地域における実践活動の成果を募集し、優れた取組みを表彰することで、自分の住む地域の自然や文化、歴史、偉人などのふるさとへの愛着を再確認し、郷土に対する愛着や誇りを育みます。これらの作品を広く発表することで、小・中・高校生が互いの地域の良さを知るとともに、保護者や地域住民にとっても、地域の魅力を再認識する機会にします。

【応募校数】

小学校 5校(8チーム)
中学校 6校(18チーム)
高等学校 6校(9チーム)

〈審査方法〉



〈最終審査会〉

●開催日/平成29年11月4日(土)10:00～ ●会場/山形県生涯学習センター「遊学館」



山形県立 置賜農業高等学校

チーム Agriction

高橋 優紀 山口 紅映 大竹 ちづる
澁谷 日果利 新野 咲 原田 怜奈



朝日町立 朝日中学校

第1学年

梅津 彩果 佐藤 岬 堀 文悟
會田 輝 菅井 美聡 清野 華鈴



ノケジョプロジェクトで広がる夢

Search for Asahi ~朝日町を知る~ (総合的な学習の時間)
朝日探究プロジェクトResearch on Asahi Project リんご探究プロジェクトResearch on Apples Project

1) テーマについて

「高校生観光アンバサダー～町の宝物を全国に発信する置農生の取り組み～」を展開しています。人口減少や少子高齢化など、元気を失いつつある農村地帯。しかし、風光明媚な自然や由緒ある名所旧跡、美味しい食べ物や伝統文化など、私たちが学ぶ川西町には、たくさんの宝物があります。私たちは、県内外に川西町の良さを発信する「ノケジョ(農業系女子)プロジェクト」を開始しました。



2) テーマに基づく活動について

昨年からスタートしたこのプロジェクトには、3つの活動があります。1つ目は、まちなか巡りコンシェルジュ。2つ目は農村と都会の交流。そして3つ目は出張産直「ノケジョマルシェ」。まちなか巡りはJR東日本の「駅からハイキング」と連携した活動を2年間続け好評です。ノケジョマルシェは、山形市や名取市の他、東京都杉並区や台東区に出かけ、川西町の食や味を販売しPRしています。

活動の成果については、大きく2つあります。1つ目は生徒の成長です。「屋根のない学校」と言われるように、地域に飛び出し、住民や観光客に対して堂々と町の宝物を紹介することで、生徒の内面に自信が生まれ、コミュニケーション力も向上しました。また、計画・実践・評価・挑戦という活動継続の手法を体得しました。2つ目は、地域との連携による成果です。本プロジェクトは、町内のNPO法人や地区交流センターとの連携事業で

もあり、人的物的な支援を受けながら実施してきました。この結果、老若男女が集い地域活性化をめざす体制が芽吹いてきました。

3) これからの活動に向けて

農村と都会の交流では、本町の宝物の一つである井上ひさしさんの「吉里吉里忌」とのジョイント企画も考えています。また、観光アンバサダーとして、町の歴史や特色を深く学んでいきたいと考えています。

1) テーマについて

総合的な学習の時間のテーマとして、「Search for Asahi～朝日町を知る～」を掲げました。そして、朝日町を知る上で、町の名産であり、全国にも誇るべき「りんご」は欠かせないと考え、「朝日探究プロジェクト」と「りんご探究プロジェクト」の2つを立ち上げ、その両面から学習を進めることにしました。

2) テーマに基づく活動について

はじめに、「朝日探究プロジェクト Research on Asahi Project」について、朝日町を知るための探究テーマを「自然・歴史・人・りんご」と設定しました。そこで「朝日探究の日」として、5月18日に朝日町を歩き、テーマに関わる施設や場所に行き、それぞれテーマについて目と耳と足を使い、地域の方々から深く学びました。さらに、テーマ「Search for Asahi～朝日町を知る～」のねらいを達成するため、「りんご探究プロジェクト Research on Asahi Project」を立ち上げ、実際に畑でりんご作りをする「りんご体験学習」とりんごについて



深く知るための「りんご探究活動」の2つの活動を進めていくことにしました。「りんご体験学習」では、朝日町の農地をお借りし、朝日町農林振興課の協力のもと収穫したりんごに文字を入れて交流している被災地の方へ復興りんごとして贈呈をしたり、3年生の進路実現を願って合格りんごとして渡す予定です。「りんご探究活動」では、学んだ成果を探究ポスターとして朝日町の道の駅「りんごの森」で展示し、来館する多くの方々に探究成果を発信する予定です。

3) これからの活動に向けて

学習活動のまとめとして、探究的な学びの記録集を発刊する予定です。総合的な学習の時間における本活動は、第2学年では「Live in Asahi～朝日町と私たち～」として、朝日町について自分たちが考えた提案を町の関係者に発表する取組みを予定しています。第3学年では「Tradition in Asahi～朝日町の伝統を引き継ぐ～」として、朝日町の伝統文化に目を向け、地域に伝わる昔語りや伝統芸能を受け継いでいく予定です。

審査員 / 渡部泰山氏

「高校生観光アンバサダー」として、町の現状と課題を分析しつつ、課題学習への取り組みのさらなる深化が感じられました。地域との連携は格段進化した。自ら学び考え行動する積極性には、置賜農業高校の伝統的で質の高い教育力を感しました。他者や、日常生活とのかかわり、その学びの集大成として、全人的な生きる力の育成という、新学習指導要領を先取りした「主体的、対話的で深い学び」の学習活動として高く評価できるものです。



審査員 / 沼野慈氏

町の象徴をりんごと捉え、探究心も旺盛に体験を深める中で地域の人々と繋がり地域の良さを再発見していく様子が伝わりました。りんごを手に揃いの衣装での明快な発表は、重ねた練習の成果を十分に示すものでした。

